

(二) 教訓的の意味を有せざる古談 五四件、
 にして教訓的古談は非教訓的古談の殆ど百に對する
 四十一に過ぎず、以て其家庭に於ける教育の一
 斑を知るべきなり。

最後に尙一言すべきは古談、乃ち昔話なるもの
 、常款なく、内地に於ては殆ど家庭教育の主要なる
 位地を占むると同一ならざる實を表するを見るべ
 し、夫の内地に於ける「桃太郎」の如き「花咲爺」の
 如き、「かちく山」の如き、「猿蟹合戦」の如きを
 見よ、蝦夷かすむ奥羽の北端より、筑紫の南端に
 到るまで、多少技藝の變化あれども、全く同款に
 行はれ、家々の兒童が先づ耳に社會の事相を知り
 得るは此古談なるに、臺灣には各人各其聞く所の
 事實を異にし、三十九人の生徒中同一古談を記し
 たるは僅々八件に過ぎず、乃ち

- 一、孔融四歳にして梨を兄に譲りし話。 二人同件
 - 二、吳猛親の爲に自身を蚊に咬ましめし話。 四人同件
 - 三、鼠の猫を捉へて竹桿に上りし話。 二人同件
 - 四、鶏と鴨と戦ひし話。 二人同件
 - 五、蛇の田給を食ひし話。 二人同件
 - 六、金姑の牧羊中夫を想ふ話。 二人同件
 - 七、近視の人、田螺と鶏屎と誤りし話。 二人同件
 - 八、哪托太子は小兒の神なりとの話。 二人同件
- にして、最も多きは四人同件なるのみ、乃ち臺灣
 の家庭に行はるゝ談話は畢竟偶然の事實にして家
 庭教育の必須要件として認められず、隨て常款の談
 話の性質なしといふべきか。(完)

幼兒の工夫

其一 (てふく)の譜

こどもこども なにをみてよろこぶ
 かけつこするのを みてよろこぶ

わかはたもつて しろはたもつて

ばんざい〜 日本ばんざい

其二

こどもこども なにをみてよろこぶ

へーたいごつこをするのを みてよろこぶ

てつばーをもつて さーべるさげて

ぼーしをかぶつて プッププッププッププップ

右の歌は、幼児らが、自造り出して、歌ひしものにして、この歌に基づきて、金の環一と木の箸

数本とを興へたるに、自競走と、兵隊とを工夫し

出したるものなりとのことにて、本會總會の節

華族女學校幼稚園より、幼児の成績品として出品せられたるものなり。

